

第3章 健幸(けんこう)長寿のまち 第4節 医療保険・医療情報

| 所属名称  | 事務事業名称  | 事業概要(全体)                  | 経費         |                               |  |   | 成果   |             |   |   | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど                        |   |  | SDGsへの貢献(最大3つ) |                 |
|---|---|---------------------------|------------|-------------------------------|--|---|--|-------------|---|---|---|---|--|----------------|-----------------|
|   |   |                           | 投入コスト      |                               | 活動実績(R1)                                     |   | 成果指標   |             | 総合評価  | 評価理由  | 現状の課題   | 事業自体が貢献する項目   | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意)   |                |                 |
| 国民健康保険課   | 実施計画ランク   | 事業の種類別                    | H30予算現額    | H30決算額                        | 項目名  | 指標名   | 目標設定の考え方・根拠  |             | C   | 目標には達していないものの、前年度までの直営時の実績(24.5%)を上回っており、一定の効果は認められる。   | R1年度に改善した点                                    | 3. すべての人に健康と福祉を   |  |                |                 |
|   | 最優先   | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | 0千円        | 0千円                           | ①特定保健指導(動機付け支援)の実施率<br>②<br>③                | 実施率   | 特定保健指導終了者数/被保険者数   |             |   |   | R1目標値が未達成の理由・分析                               |   | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み  |                |                 |
|   | 根拠法令  | R1予算現額                    | R1決算額(見込み) | 実績                            |  |   | R元年度目標   | R1実績        |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 高齢者の医療の確保に関する法律、国民健康保険法   | 7,500千円                   | 3,862千円    | ①27.4%(令和2年6月26日時点)<br>②<br>③ |  |   | 40.0%  | 27.4%       |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 特定保健指導業務委託事業  | 事業の目的及び具体的な内容             | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合                  | R1目標値が未達成の理由・分析                              | 特定保健指導の一部(動機付け支援)を、直営体制から業務委託に切り替えることにより、目標達成を目指したが、各医療機関の人員不足などにより対応できない医療機関が多かった。 | H30年度目標  | H30実績       |   |   | 各医療機関に事業内容について丁寧に説明していくことで、実施できる医療機関数を増やしていく。 |   |  |                |                 |
|   | 平成20年4月から、各医療保険者には生活習慣病予防及び疾病の早期発見・早期治療を通して、健康の保持増進と生活の質の向上を図ることを目的とした特定健康診と特定保健指導の実施が義務付けられた。                                      | 0.00人                     | 非常勤特別職     | R元年度目標                        |  |   | R1実績   |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 実施率向上を目指し、特定保健指導の一部(動機付け支援)については、直営体制から業務委託に切り替え、国の目標値60%が達成できる体制の再構築を目指すものである。   | 0千円                       | 臨時職員       | R2年度目標                        |  |   |  |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 期間  | R1~                       | R1正規職員人件費  | R1その他職員従事割合                   | 1.40人  | 非常勤特別職  | 40.0%  |             |   |   | 国民健康保険課長 新井 浩蔵                                |   | 実施率向上に向けて、事業の委託を行った。   |                |                 |
|   |   |                           | 11,637千円   | 臨時職員                          | 1.00人  |   | 40.0%  |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 国民健康保険課   | 実施計画ランク                   | 事業の種類別     | H30予算現額                       | H30決算額                                       | 項目名   | 指標名  | 目標設定の考え方・根拠 |   |   | S   |   | 医療費が高額になる腎不全への対策として、腎機能が低下しており、かつ医療機関に受診していない人を医療に適切に結びつけることが重要であるため、過去の実績等を考慮し、医療機関の受診率を指標とするものである。 | R1年度に改善した点     | 3. すべての人に健康と福祉を |
| 最優先   |   | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | 23,110千円   | 21,814千円                      | ①受診勧奨対象者の受診率<br>②保健指導対象者の修了率<br>③継続支援対象者の参加率 | 受診勧奨対象者の受診率   | 医療費が高額になる腎不全への対策として、腎機能が低下しており、かつ医療機関に受診していない人を医療に適切に結びつけることが重要であるため、過去の実績等を考慮し、医療機関の受診率を指標とするものである。 |             | R1目標値が未達成の理由・分析   | 受診勧奨後、一定期間経過後も医療機関に係る病識の啓発により事業参加者が増えたが、継続してさらなる工夫を続けていく。所沢市医師会の協力により、協力医療機関へは、本事業についての周知が進んだが、対象者においては早期受診の重要性が十分に認識されていないと考えられるため、関係機関と協力し、早期受診の重要性を機会を捉えて啓発していくことが求められる。 |   |   |  |                |                 |
| 根拠法令  |   | R1予算現額                    | R1決算額(見込み) | 実績                            |  |   | R元年度目標   | R1実績        |   |   |   |   |  |                |                 |
| 国民健康保険法   |   | 25,964千円                  | 25,838千円   | ①27.5%<br>②79.3%<br>③37.3%    |  |   | 15.0%  | 13.3%       |   |   |   |   |  |                |                 |
| 生活習慣病重症化予防対策事業  |   | 事業の目的及び具体的な内容             | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合                  | R1目標値が未達成の理由・分析                              | 未受診理由としては、症状が出ていないことによる必要性の認識の欠如や忙しさなどが想定される。早期の取り組みの重要性が十分に理解されていないと考えられる。         | H30年度目標  | H30実績       | さらなる参加者の確保に向けて、関係機関と連携の上、事業案内・広報の工夫、実施方法の多様化の検討を含めた改善を行っていく。また、関係機関と連携を深め、早期受診の重要性について普及啓発していく。 |   |   |   |  |                |                 |
| 県の指定を受けたモデル事業であり、国保連合会との共同事業として実施。各保険者が事業費用を分担金として負担。具体的には、レセプトと健診データを活用し、糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者・受診中断者を医療に結びつける受診勧奨と、糖尿病性腎症で通院する被保険者のうち、重症化するリスクの高い者に対して保健指導を行い、人工透析への移行を防ぐ。 |   | 0.65人                     | 非常勤特別職     | R元年度目標                        |  |   | R1実績   |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   |   | 5,447千円                   | 臨時職員       | R2年度目標                        |  |   |  |             |   |   |   |   |  |                |                 |
| 期間  |   | H26年度~                    | R1正規職員人件費  | R1その他職員従事割合                   | 1.30人  | 非常勤特別職  | 16.0%  | 27.5%       | 国民健康保険課長 新井 浩蔵  | 受診率向上に向けて、県の事業に参加した。  |   |   |  |                |                 |
|   |   |                           | 10,806千円   | 臨時職員                          |  |   | 17.0%  |             |   |   |   |   |  |                |                 |
| 国民健康保険課   |   | 実施計画ランク                   | 事業の種類別     | H30予算現額                       | H30決算額                                       | 項目名   | 指標名  | 目標設定の考え方・根拠 |   | A   |   | ジェネリック医薬品数量シェア<br>後発医薬品の数量シェア=後発医薬品の数量÷(後発医薬品の数量+先発医薬品の数量+後発医薬品の数量)×100 |  | R1年度に改善した点     |                 |
|   | 優先  | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | 1,501千円    | 839千円                         | ①ジェネリック医薬品数量シェア<br>②<br>③                    | ジェネリック医薬品数量シェア  | ジェネリック医薬品数量シェア   |             | R1目標値が未達成の理由・分析   |   | 事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み               |   |  |                |                 |
|   | 根拠法令  | R1予算現額                    | R1決算額(見込み) | 実績                            |  |   | R元年度目標   | R1実績        |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 特になし  | 1,388千円                   | 814千円      | ①77.7%<br>②<br>③              |  |   | 75%(指標:ジェネリック医薬品数量シェア率)  | 76.4%       |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | ジェネリック医薬品利用促進事業   | 事業の目的及び具体的な内容             | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合                  | R1目標値が未達成の理由・分析                              | 令和2年3月診療分より数量シェアの算出方法が変更となり、「調剤のみ」から「調剤+内科の院内処方」も含んだ方法に変わったことが理由である。                | H30年度目標  | H30実績       | 令和3年3月診療分のジェネリック医薬品の数量シェア率の目標値である80%を達成すべく、さらなる使用促進を目指していく。                                     |   |   |   |  |                |                 |
|   | 令和2年3月診療分のジェネリック医薬品の利用率の目標値を数量ベースで78%と定め、ジェネリック医薬品の利用促進シールの配布等により被保険者への周知・啓発活動をすすめることと、医師会、歯科医師会、薬剤師会等、医療関係者に対しても協力・連携を図り、目標達成を目指す。 | 0.70人                     | 非常勤特別職     | R元年度目標                        |  |   | R1実績   |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   |   | 5,866千円                   | 臨時職員       | R2年度目標                        |  |   |  |             |   |   |   |   |  |                |                 |
|   | 期間  | H25年度~                    | R1正規職員人件費  | R1その他職員従事割合                   | 0.39人  | 非常勤特別職  | 75%(指標:ジェネリック医薬品数量シェア率)  | 77.7%       | 国民健康保険課長 新井 浩蔵  |   | 数量シェア率向上に向けて、啓発活動を行った。                        |   |  |                |                 |
|   |   |                           | 3,242千円    | 臨時職員                          |  |   | 80%(指標:ジェネリック医薬品数量シェア率)  |             |   |   |   |   |  |                |                 |

| 所属名称    | 事務事業名称   | 事業概要(全体)                  | 経費         |              |   |         | 成果   |  |      |   | 評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど |                 |                        | SDGsへの貢献(最大3つ) |  |
|---------|--|---------------------------|------------|--------------|---|---------|--|--|------|---|------------------------|-----------------|------------------------|----------------|--|
|         |  |                           | 投入コスト      |              | 活動実績(R1)  | 成果指標    |  |  | 総合評価 | 評価理由  | 現状の課題                  | 事業自体が貢献する項目     | 実施手法等の工夫により貢献できた項目(任意) |                |  |
| 国民健康保険課 | 実施計画ランク  | 事業の種類                     | H30予算現額    | H30決算額       | 項目名   | 指標名     | 目標設定の考え方・根拠  |  | B    | 今後も広域連合及び国民健康保険の特定健康診査等実施事業と連携して、受診率の向上を目指していく。 | R1年度に改善した点             | 3. すべての人に健康と福祉を |                        |                |  |
|         | 重要   | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | 128,301千円  | 128,301千円    | ①受診者数<br>②対象被保険者数<br>③                            | 受診率     | 埼玉県後期高齢者医療広域連合第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)(2018~2023年)の受診率を目標とする。 |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 根拠法令   | R1予算現額                    | R1決算額(見込み) |              |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 埼玉県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例  | 142,983千円                 | 136,175千円  |              |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 健康診査実施事業   | 事業の目的及び具体的な内容             | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | 実績  | H30年度目標 | H30実績  | R1目標値が未達成の理由・分析  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 埼玉県後期高齢者医療広域連合が実施すべき健康診査について市が業務を受託している。後期高齢者医療の被保険者に対し、市から健康診査受診券を送付し、受診希望者は市から委託を受けた医療機関において基本的な健康診査を受診する。被保険者の健康保持増進を図るとともに、医療費の適正化を図る。 | 1.25人                     | 非常勤特別職     | 40.0%        |   | 35.7%   |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 10,475千円   | 臨時職員                      | R元年度目標     | R1実績         |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 期間   | H20年度~                    | R1正規職員人件費  | R1その他職員従事割合  | ①14,693人  | 37.0%   | 34.4%  | すでに医療機関に通院し医師の管理下にあるため、健康診査の必要性を感じていない被保険者が多いことが目標未達成の理由であると考えられる。                                       |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         |  |                           | 1.55人      | 非常勤特別職       | ②42,722人  | R2年度目標  |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         |  |                           | 12,884千円   | 臨時職員         | ③   | 38.0%   |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
| 国民健康保険課 | 実施計画ランク  | 事業の種類                     | H30予算現額    | H30決算額       | 項目名   | 指標名     | 目標設定の考え方・根拠  |  | A    | 一定の受診率は保っているものの、目標には及ばなかった。                     | R1年度に改善した点             | 3. すべての人に健康と福祉を |                        |                |  |
|         | 重要   | ■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加 | 53,625千円   | 45,684千円     | ①助成金合計額(人間ドックコース)<br>②助成金合計額(生活習慣病健診コース)<br>③受診者数 | 受診率     | 受診者数/被保険者数(35歳以上)  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 根拠法令   | R1予算現額                    | R1決算額(見込み) |              |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 国民健康保険法、所沢市国民健康保険被保険者の総合健康診断に関する要綱   | 53,625千円                  | 43,128千円   |              |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 総合健康診断(人間ドック)補助事業  | 事業の目的及び具体的な内容             | H30正規職員人件費 | H30その他職員従事割合 | 実績  | H30年度目標 | H30実績  | R1目標値が未達成の理由・分析  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 国民健康保険被保険者が市民医療センターで受診する総合健康診断(人間ドック)の検診料に対し、日帰りコースは16,500円、生活習慣病コースは15,000円を補助することで、受診を促し、疾病の早期発見、生活習慣病予防により健康保持・増進を図る。                   | 0.23人                     | 非常勤特別職     | 5.0%         |   | 4.7%    |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 1,927千円  | 臨時職員                      | R元年度目標     | R1実績         |   |         |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         | 期間   | S61年度~                    | R1正規職員人件費  | R1その他職員従事割合  | ①37,818,000円                                      | 5.0%    | 4.5%   | 詳細な健康診査となるため自己負担額が高額であること、助成対象となる医療機関が市民医療センターに限られること、新型コロナウイルスの影響により、毎年恒例の年度末の駆け込み受診がなかったことなどが原因と考えられる。 |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         |  |                           | 0.90人      | 非常勤特別職       | ②5,310,000円                                       | R2年度目標  |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |
|         |  |                           | 7,481千円    | 臨時職員         | ③2,646人   | 5.0%    |  |  |      |   |                        |                 |                        |                |  |